

クレメンティ校俳句「冬のおとずれ」

クレメンティ校の6年生が国語の学習で俳句を考えました。日本の冬を思い浮かべながら、季語を使って俳句を作りました。比喻表現や切れ字、体言止めなど技法を使うことも意識しました。

冬空に 無き道照らす 月光か	中尾 元軌
冬が来た 星の行進 寒き夜	濱田 芽生
寒の入り すみ一色の なごりかな	岩井 あかり
雪どけや みんな消えてく また会おう	斎藤 陽和
眠気との 戦い制し 年を越す	添田 快
こたつ内 ダジャレをしやくべくり みな水	野田 健琉
いつの日か 宝石が降る しずかな日	櫻井 楽々
クリスマス 夢の扉に ノックする	福島 颯波
帰り道 こたつめがけて 早足に	中村 彩乃
外出たら 雪でおおわれた 銀世界	曾根 百花
テントウ虫 枯れ葉のこたつで ひとやすみ	三輪 祐花
お正月 そば なべ おせち 十二時に	岡田 紫央里
雪つもる 宿題やらずに 一週間	照沼 南緒
水道水 まるで冬の 地ごくシャワー	近津 よつ葉
冬すみれ 花のつぼみと 春をまつ	川本 結愛
手ぶくろが 片方迷子 手がかじかむ	稲葉 唯人

チャンギつ子「シンガポール川柳」

チャンギ校の5年生が国語の学習で川柳を考えました。シンガポールでの生活から感じたことや思いを表現しています。

オーケイラ シングリッシュは 個性的	阿部 環奈
美味しいな マレーの匂い ナシレマだ	オン 寛佳
ホーカーで 食べる料理が ホッケンミー	金崎 春太
マライオン 虹の形の 水をはく	加納 有彩
チリクラブ かにをかちわり しんにゅうだ	黒須 奏一朗
おいしいな フードコートは 宝島	田副 いろは
夜の海 輝く形 海の獅子	稲吉 凜太郎
いつ見ても 桜の木など あらんとす	小野田 慶太
一年に 何回くるの ニューイヤー	菰田 りのか
多様性 みんな認める 心あり	田渕 瑞季
我がこきょう いつも魚竜は 守り神	徳田 虎哲
暑いなか 木が生いしげる シンガポール	興津 奈穂
経済が 未来へつなぐ 豊かさを	菊入 航
マライオン 水と光の 希望たち	末吉 彩羽
マライオン 青空の下 水の虹	竹村 美緒
霜月や 師走がきても 冬は来ぬ	板橋 龍之介